

# 議会だより

## 「すかがわの魅力再発見」

### よこたさんごしんじ 横田山護真寺 参道

長年にわたり地域の人々に愛されてきた桜並木は、両堤に水仙も植えられ美しい。本堂に続く参道を登りつめると、推定樹齢400年以上のしだれ桜と本尊の宝冠釈迦如来坐像ほうかんしゃかにょらいざざう(通常非公開)が迎えてくれる。

「宿より 頼(み)をかけん みとり子を 護る真の寺ときくから」(詠み人知らず)と安産を祈願する人々も多く訪れる。

### もくじ

【議案審査】令和7年度当初予算 …… 2～3

【中学生模擬議会】 …… 10

【委員会活動報告】 …… 3

【政務活動費報告】 …… 11

【審議結果】3月定例会 …… 4～5

【6月定例会のお知らせ】 …… 12

【一般質問】3月定例会 …… 6～9



3月定例会 令和7年度当初予算

## 一般会計354億6千万円を可決

(対前年度比17億4千万円 5.2%増)

3月定例会は、2月18日から3月14日までの25日間の会期で開かれ、令和7年度一般会計当初予算をはじめ、議案44件・報告5件が提出されました。

3月10日から12日の3日間は予算常任委員会が開かれ、令和7年度一般会計及び特別会計予算について慎重な審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

ここでは、令和7年度一般会計当初予算の審査における質疑と答弁の一部を要約してご紹介します。



Pick up!! //

## 質疑・答弁の一部紹介

※紙面の都合上要約しています。

## ひと

## 物価高騰対応重点支援事業【学校教育課】

- Q 新規事業であるが、詳しい事業内容と1人あたりの補助額を伺う。
- A 保護者が負担する学校給食費の高騰分について、その一部を公費により補助するもの。1人あたり、年額で約6,500円/年を補助する。

## 敬老事業【長寿福祉課】

- Q 敬老祝品の対象年齢が狭まることについて問い合わせ等があったと思うが、見直しの理由を伺う。
- A 見直しについては、高齢者を祝う、敬う気持ちを市としてどう表していくか考える中で、少子高齢化等で家族のあり方も変容しており、家族で祝ってもらう機会として、賀寿年齢を対象とした。

## まち

## ティーンズ会議運営事業【企画政策課】

- Q 事業の目的と内容を伺う。
- A 若い世代の声に耳を傾けるとともに、将来の須賀川を担う人材育成に取り組むこと、市政に参画してもらうこと、参加者同士の交流を図ること、団体等との関わりにより、新たな知見を獲得することが目的。内容は、ワークショップや研修等である。

## 戸籍振り仮名整備事業【市民課】

- Q 今後のスケジュールについて伺う。
- A 令和7年5月26日付で対象者を抽出し、7月頃郵送する予定。そこから令和8年5月26日まで届出受付を行い、その後一斉に戸籍に振り仮名を記載する。記載終了は令和8年8月頃を予定している。

## しごと

## 創業支援事業【商工課】

- Q 創業希望者へ向けた支援について、詳しい事業内容を伺う。
- A 1つ目は出店者の支援業務委託であり、tetteのチャレンジショップの出店者に中小企業診断士の相談を入れて、起業スタートアップにつなげていくもの。  
2つ目は創業者の支援補助で、起業スタートアップを目的に実施する。1件40万円で10人見込んでいる。  
3つ目は創業支援事業者の補助金で、商工会や会議所、銀行などで行う、創業を目指す方向けのセミナーに対する補助である。

## 外国人労働者交流促進事業【商工課】

- Q 講座の実績と対象の国籍を伺う。
- A 令和6年度は日本語講座を5回開催し、延べ69人が受講した。  
対象国籍の制約はない。

## くらし

## 観光誘客推進事業【観光交流課】

- Q ビデオ製作委託の内容を伺う。
- A 市内観光施設やイベント、市内事業者の体験型コンテンツ等を盛り込んだ、通年使えるプロモーションビデオの製作を行う。内容は、四季を通してドローンで撮影し、新たなコンテンツを盛り込みたいと考えている。  
日本語のほか英語、繁体字による字幕を付ける予定であり、県内外のイベントでの放映、WEBやSNS等で幅広く発信することを想定している。

## ごみステーション設置費補助事業【環境課】

- Q 予算額が増額している要因を伺う。
- A カラス除けネットについて、今までは購入費用の補助であった。要望等を踏まえ、令和7年度からは現物給付へ制度を改正したことに伴い、増額している。

「第9次総合計画」をはじめ、「デジタル田園都市構想総合戦略」及び「過疎地域持続的発展計画」に沿ったまちづくりの推進

第9次総合計画 4分野の主な事業



ひと

- 児童クラブ館管理運営事業 5億2,788万7千円
- 特別支援教育推進事業 1億8,559万3千円
- 障がい者地域生活支援事業 1億2,694万5千円
- 子育て支援センター運営事業 8,535万2千円
- 特定健康診査事業 7,412万6千円

くらし

- 駅西地区都市再生整備事業 22億1,572万8千円
- 防災体制推進事業 1億6,500万9千円
- 橋りょう修繕事業 1億4,265万3千円
- 防災設備等維持管理事業 1億785万3千円
- 交通安全施設整備事業 6,005万1千円

しごと

- 多面的機能支払交付事業 1億7,631万2千円
- 農業水路等長寿命化・防災減災事業 9,361万5千円
- 水田フル活用推進事業 6,305万3千円
- 新規就農者育成支援事業 3,050万6千円
- 中小企業融資等支援事業 2,069万8千円

まち

- 自治体情報システム標準化事業 2億667万3千円
- ふるさと納税推進事業 4,754万3千円
- 特撮アーカイブセンター管理運営事業 3,813万3千円
- 自治体活動推進事業 3,608万円
- 自治体行政スマート化推進事業 2,346万7千円

過疎地域持続的発展計画を推進する主な事業

- 小学校管理運営事業 4億2,632万5千円
- 学校給食センター管理運営事業 2億5,281万7千円
- 市道維持管理事業 2億165万4千円

委員会で行政視察を行いました



詳細については、QRコードをスマートフォン等で読み取ると、各委員会の報告書がご覧いただけます。今後は、これらの調査を踏まえ、本市の取組に役立てていきます。



総務常任委員会

塩尻市 視察の様子



令和6年10月9日～11日  
長野県塩尻市、新潟県柏崎市  
「DXの推進の取組について」(塩尻市)  
「デジタル予算書について」(柏崎市)



経済建設常任委員会

八千代市 視察の様子



令和6年10月8日～10日  
千葉県八千代市、木更津市  
「鉄道沿線のコンセプトを持ったまちづくりについて」(八千代市)  
「地域循環共生圏の取組について」(木更津市)



文教福祉常任委員会

伊東市 視察の様子



令和6年10月22日～24日  
静岡県伊東市、袋井市  
「伊東ロケーションサービスについて」(伊東市)  
「部活動の地域移行に関する取組について」(袋井市)



議会広報常任委員会

日光市 視察の様子



令和6年10月15日～16日  
栃木県日光市、矢板市  
「議会広報について」  
「SNS等を活用した情報発信について」



議会運営委員会

宇都宮市 視察の様子



令和6年10月30日～31日  
東京都西東京市、栃木県宇都宮市  
「災害時におけるタブレット端末を活用した議会の対応等について」

／なにが決まった？／



# 3月定例会の審議結果



結果の表示記号

○ 全会一致で可決、了承、同意、承認等    ○ 賛成多数で可決  
 ▲ 賛成少数で不採択    ■ 賛否が分かれた議案等

議案等番号	件名	結果
議案	1 人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	○
	2 専決処分の承認を求めることについて	○
	3 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	○
	4 財産の取得について（追認）	○
	5 市長等の給与及び旅費並びに教育長の勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例	○
	6 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○
	7 須賀川市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○
	8 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○
	9 須賀川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○
	10 須賀川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	○
	11 須賀川市犯罪被害者等支援条例	○
	12 須賀川市工場等立地促進条例の一部を改正する条例	○
	13 須賀川市手数料条例の一部を改正する条例	○
	14 須賀川市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	○
	15 須賀川市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○
	16 須賀川市牡丹会館の指定管理者の指定について	○
	17 須賀川市特定疾患患者福祉手当支給条例を廃止する条例	○
	18 須賀川市デイサービスセンターの指定管理者の指定について	○
	19 須賀川市保育所条例の一部を改正する条例	○
	20 須賀川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○
	21 須賀川市立ばたん児童クラブ館等の指定管理者の指定について	○
	22 須賀川市立うつつみね児童クラブ館の指定管理者の指定について	○
	23 須賀川市立柏城児童クラブ館の指定管理者の指定について	○
	24 須賀川市立日高見児童クラブ館及び須賀川市立かしまの森児童クラブ館の指定管理者の指定について	○
	25 令和6年度須賀川市一般会計補正予算（第10号）	○
	26 令和6年度須賀川市市営墓地事業特別会計補正予算（第2号）	○
	27 令和6年度須賀川市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○
	28 令和6年度須賀川市介護保険特別会計補正予算（第4号）	○
	29 令和6年度須賀川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○
	30 令和7年度須賀川市一般会計予算	○
	31 令和7年度須賀川市市営墓地事業特別会計予算	○

# 審議結果

審議結果

議案等番号	件名	結果
議案	32 令和7年度須賀川市特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算	○
	33 令和7年度須賀川市中宿財産区特別会計予算	○
	34 令和7年度須賀川市小塩江財産区特別会計予算	○
	35 令和7年度須賀川市西袋財産区特別会計予算	○
	36 令和7年度須賀川市長沼財産区特別会計予算	○
	37 令和7年度須賀川市国民健康保険特別会計予算	○
	38 令和7年度須賀川市介護保険特別会計予算	○
	39 令和7年度須賀川市後期高齢者医療特別会計予算	○
	40 令和7年度須賀川市水道事業会計予算	○
	41 令和7年度須賀川市下水道事業会計予算	○
	42 須賀川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○
	43 須賀川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○
	44 令和6年度須賀川市一般会計補正予算（第11号）	○
	報告	1 専決処分の報告について
2 公益財団法人ふくしま科学振興協会の令和7年度事業計画及び収支予算について		○
3 公益財団法人須賀川市スポーツ振興協会の令和7年度事業計画及び収支予算について		○
4 公益財団法人須賀川市農業公社の令和7年度事業計画及び収支予算について		○
5 郡山地方土地開発公社の令和7年度収支予算について		○
議員 意見書 提出	1 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	○
	2 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について	○
請願	令和6年7月 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願	○
	1 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	○
	2 国に対し「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」提出についての請願	▲

## 各議員の賛否一覧 ~表のうち、賛否の分かれた議案などについて、議員ごとの賛否をお知らせします~

議案等 番号	議員名	志政会										新政会				須賀川 未来会議			政悠会			日本共産党 須賀川市議団		無会派		議決結果		
		深谷 勝仁	松川 勇治	関根 篤志	古川 達也	熊谷 勝幸	小野 裕史	大柿 貞夫	佐藤 瞭二	五十嵐 伸	柏村 修吾	鈴木 洋二	石堂 正章	鈴木 正勝	市村 喜雄	深谷 政憲	溝井 光夫	大河内 和彦	齊藤 秀幸	浜尾 一美	本田 勝善	堂脇 明奈	横田 洋子	安藤 正博	大内 康司	賛成	反対	棄権
議案第30号		○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	21	2	0	
議員提出意見書案 第2号		○	○	●	●	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	棄	棄	○	○	○	○	18	3	2
請願第2号		●	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	○	●	○	2	20	0

※○は賛成 ●は反対 ※議長(佐藤 瞭二)は、採決に加わりません。 ※請願第2号については、除斥により堂脇明奈議員は採決に加わりません。



小野 裕史



市長施政方針「令和7年度当初予算について」

問 当初予算編成にあたり、集中改革プランの目標達成を考慮し、考えをしっかりと反映した予算となっているか。

答 当初予算の編成に当たっては、行財政改革取組方針に基づく集中改革プランの計画目標の早期達成に向け、経常経費の縮減に努めたほか、財政調整基金からの繰入れを行わずに編成を行った。

問 集中改革プランの中、税外収入の取組に対する市の考え方伺う。

答 税外収入の確保、拡大については、ふるさと納税の拡大、未利用公有財産の売却、民間事業者と連携した広告事業、ネットミニングライツによる収入確保などによる

努め、今後も歳出削減と併せて全庁的に取り組んでいく考えである。

次世代を担う人材の確保と育成について

問 大寺市政が目指す、求める職員像について伺う。

答 職員に求める1番は元気である。職員は元気が出るような働き方改革や、研修による人材育成に注力していきたい。

2番はチャレンジング精神である。先進地視察や研修により、失敗を恐れず新たな取組に挑戦できる職員になってほしい。

3番には、初心を忘れないことである。地方公務員として宣誓した内容を忘れない、市民や市のための、献身的な全体の奉仕者になってほしい。

このような職員がさらに増えるよう、まずは自らが元気のある市長でいられるよう、全力で努めていく。



横田 洋子



市長等特別職の退職手当のあり方について

問 市長等特別職の退職手当の要素について伺う。また、市長等特別職の退職手当については、須賀川市職員の退職手当に関する条例に規定されているが、当該条例の改正時期、手当額の算出方法及び手当額を伺う。

答 勤続報奨としての要素が強いものと認識している。規定は平成22年3月から施行され、給料月額に特別職ごとの支給率と在職月数を乗じて算出する。1期分の任期満了時の手当額は市長2,304万円、副市長1,114万5,600円、教育長502万5,600円である。

問 物価高騰によって国民の生活はひっ迫しているうえ、中小企業は利益率が下がり、企業経営への影響も心配されている。現行では地域市民を取り

巷く経済状況からかい離しており改善が必要と考えるが、当該条例の改正についての考えを伺う。

答 引き続き地域の経済情勢、一般職の給与との改定状況の推移と、県や市内各市の特別職の退職手当に係る支給率の推移を参考により、適切な内容となるよう調査研究を進めていく。

問 市長の職務遂行には市民の理解があつてこそ、市民協働によるまちづくりができると思う。市長の考えを伺う。

答 この手当額が他自治体と著しく均衡を失っていないければ、それが職責への世の中の評価である。評価が民意とかけ離れているならば、私自身も市民と対話し、理解し合う機会を設ける必要があると考える。

その他の質問事項

- ①市職員の公正な職務執行の確保について
②高齢者等のごみ出し支援の現状と今後について
③市民協働としての区長、町内会長への対応について



鈴木 正勝



2030年までの達成に向けたSDGsへの取り組みについて

問 今後の取組について、市民への取組、行政としての取組、企業、団体への取組について伺う。

答 市民への取組については、市民協働の理念を基に、地域づくり出前講座での周知のほか、市民による自主的な研修会への講師派遣を、継続して実施していく考えである。

また、令和5年度から実施している小学生向けSDGsクイズを継続して実施し、児童、生徒だけでなく、その保護者への浸透も目指していく。

行政としての取組については、持続可能なまちづくりに向け、SDGsが掲げる目標に向かって一

人一人が行動し、実践に移行するための身近な実践例などを、市広報、ホームページ、公式LINEなどを活用し、広く周知するなど、市民や企業、団体への支援や働きかけを継続していく考えである。

企業、団体への取組については、SDGs推進協議会の影響力を最大限に生かした情報発信のほか、市内ステークホルダーによる連携強化に努めていく。

また、SDGs宣言パートナー制度の更なる浸透を図るほか、市内の企業や団体、学校などが実施する取組を市が積極的に発信することを取り組む機運の醸成を図っていく考えである。

その他の質問事項

- ①国土強靱化地域計画の促進について
②定期予防接種の接種率向上について



一般質問は、議員の調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、市政全般について市長などの方針を問うものです。議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁が要約してありますが、QRコードをスマートフォン等で読み取ると、全体の録画映像を見ることができます。



関根 篤志



**市のお悔やみ支援の現状について**

**問** 市のお悔やみ支援の現状について、令和4年から令和6年の間、窓口において、死亡届が出された受付の件数について伺う。

**答** 令和4年1,018件、5年1,048件、6年1,012件。個々の事情により異なるが、市役所での手続きとしては、お悔やみハンドブックに基づき、最大で13課、30種類の項目を案内している。手続内容により異なるが、多い方は半日以上を要する場合もある。

**問** お悔やみ支援、これを明確に表示したコーナー、案内等設置などが現状あるかどうか。

**答** お悔やみ専用窓口としては設置をしていないが、遺族の方の負担軽減を図るた

め、1階窓口での手続においては、「死亡届を出された方へ」という主な手続をまとめた一覧を提示しながら、ワンストップでの対応に努めており、2階や3階フロアでの手続が必要な場合は、移動しての手続を案内している。

**問** ワンストップであるのであれば、もはや専用窓口を明示すれば、お悔やみ支援窓口になるともいえる。もちろん、国で推進するDXに係るワンストップサービスとは異なるが、捉え方にもよる。今後、当市でお悔やみコーナーを設置する意向はあるか伺う。

**答** お悔やみ支援窓口の在り方等について、他市の先進事例を参考にしながら、今後検討していく考えである。

**その他の質問事項**  
①市長施政方針「多様性を認め合う社会の実現について」



柏村 修吾



**地球沸騰化に伴う学習環境の改善と災害時避難所への対策について**

**問** 学習環境を改善するため、小中学校、義務教育学校の体育館における現在の取組を伺う。

**答** 暑さ対策として、大型扇風機を基本に、各学校の要望を確認しながら設置しており、合計88台設置している。

**問** 災害発生時など、学校の体育館を避難所とする際、空調設備、冷暖房関係はどのように準備するのか。

**答** 各学校で所有している冷暖房設備を活用し、災害時における生活物資等の供給協力に関する協定を締結している事業者に供給してもらうほか、購入やレンタルを行う。

**問** 今後の計画を伺う。

**答** 設備は、現状の配置状況や必要数を精査し、状況に応じた配置となるよう整備していく。

**不登校の現状について**

**問** 本市の不登校児童、生徒数とその要因について伺う。

**答** 令和6年12月末現在で小学校30名、中学校80名、計110名である。

主な要因は、集団不登校が21%、体調不良が19%、情緒混乱が15%、無気力が11%、家庭環境が8%である。

**問** これまでの取組を伺う。

**答** QU心理テストを実施し、個に応じた指導の工夫を図っており、スクールカウンセラーを兼務も含め全ての学校に配置し、心の教室相談員、スクールソーシャルワーカー、適応指導教室に指導員、教育支援センターに指導主事を配置することにより、専門性を生かした支援を行い、情報共有しながら支援に当たっている。

**問** 今後の取組について伺う。

**答** 各学校と連携して、必要な支援に取り組んでいく。



熊谷 勝幸



**中体連出場への支援について**

**問** 中体連出場に際して、令和5年度からは地域のクラブチームからも参加できるようになったが、その経緯と、本市において、本年度に地域クラブチームから参加した生徒の種目と人数について伺う。

**答** 地域のクラブチームから参加した生徒の種目と人数は、柔道と剣道の2種目において、9名の参加。

**問** 中体連の出場に際し、学校から参加した生徒と、地域のクラブチームから参加した生徒への支援の違いについて伺う。

**答** 学校部活動から参加している生徒には、県中大会以上の際には、当該生徒が所属する学校に對し、旅費相当額の報償費を

支給して地域のクラブチームから参加する場合、支給基準に当てはまらないことや、支給対象としていない。東北大会以上の際には、所属にかかわらず、須賀川市スポーツ大会出場激励金交付制度の支援対象である。

**生活道路について**

**問** 市道の道路改良や舗装、維持補修など行政区長などからの要望に対して、どのように回答しているのか伺う。

**答** 現地調査を行い、地域での重要性や交通量、緊急性などを考慮しながら対応方法を検討し、実施の有無や時期などについて電話や窓口で説明し、理解を得ている。

**その他の質問事項**  
①市長施政方針「地域防災体制の充実に」



深谷 勝仁

市長施政方針  
「幼児教育・保育の  
充実について」

**問** 令和7年度からの、保育施設における医療的ケア児の受け入れ開始に向けた準備状況について伺う。

**答** 保育施設などへの入所を希望する医療的ケア児について、第二保育所での受け入れに向け、医療的ケアを行う看護師などの配置を始め、ベッドなどの備品を準備するなど、受け入れ体制の環境整備を進めているところである。

**問** 教育、福祉、相談支援の各機関が異なる支援の方針や計画を立ててしまうと、児童生徒や家庭が混乱するケースもあるため、支援計画を統合的に整理することが重要である。そこで、各支援機

関が連携できるような仕組みづくりや今後の方針について伺う。

**答** 福祉機関とともに、好事例を紹介する機会を持ちながら、支援の流れが分かるようなフローチャートを作成し、関係者間で共有することで、学校と福祉機関とが円滑に連携できる体制づくりに努める。

**問** 現行のサポートブックでは、教育支援計画や個別支援計画、障がい児支援利用計画などと一緒に綴じることが難しい。サポートブックをA4サイズに変更することで、各計画と一体的に管理、活用しやすくなるかと考えるが、サイズ変更についての考えはあるか伺う。

**答** 関係機関や利用者からも意見を伺い、更に活用が図られるよう、規格、形状などの変更も含め検討していく。

その他の質問事項

- ① 市長施政方針「フレイル予防・介護予防の推進について」
- ② 行政組織について
- ③ 不登校児童生徒への支援について



堂脇 明奈

災害時の備えと生活  
再建について

**問** 多発する災害を想定した備えと、長期化する避難生活を早期に終わらせるための生活再建の改善が必要である。国において、地方経済生活環境創生交付金が新設された。備蓄強化をするために、この交付金を活用する考えはあるか伺う。

**答** 交付金の活用については、本市では、避難所用テント、簡易ベッド、熱圧着自動ラップ式トイレを購入する予定であり、資機材の充足率を高め、安心で快適な生活が送れる避難所を増やしていく考えである。

**問** 自然災害により住宅被害を受け一定の条件を満たす場合、被災者生活再建支援制度が適用となるが、資材高騰や工賃の値上がりが続いており、限度

額の引上げや範囲の拡充を望む声は、被災自治体から挙げられている。また、生活再建の見通しの早さが、災害後の人口流出に歯止めをかけることができると思われるため、国に支援金の引き上げや対象の拡大を求める必要があると考えますが、市の考えを伺う。

**答** 全国市長会において、被災地支援の充実強化として、上限額や適用範囲の拡大など、総合的な制度のさらなる見直しを図るところであり、市としては、引き続き国の動向を注視していく考えである。

その他の質問事項

- ① 市長施政方針「幼児教育保育の充実について」豊かな心と体の育成について
- ② 生活困窮者支援における本市と須賀川市社会福祉協議会との連携について
- ③ 動物愛護における地域猫について



安藤 正博

翠ヶ丘公園の  
管理について

**問** 公園内の枯れたアカマツの被害本数の把握と、安全対策をどのように行っているか。

**答** 松くい虫による被害が昨年度から急増し、100本程度の被害木を確認しており、危険な場所は、看板などで注意を促している。また、現在、利用者の多い施設や園路などに近接する被害木を優先し、毎年30本程度の伐採を行っている。

**問** 健全なアカマツに対し、枯れないための対策をどのように行っていくのか。また、維持、保全についてどのように検討、計画しているか伺う。

**答** 被害の拡大を抑制するため、薬剤散布など継続した取組が必要。また、伐採したアカマツの周辺には自生

した若木もあり、それらを守りながら若木の移植や植林などを実施し、「市の木」であるアカマツの保全に努めていく。

風流のはじめ館に  
ついて

**問** 令和5年度の来館者数と貸館件数、また、その使用目的を伺う。

**答** 令和5年度の年間来館者数は2万800人である。貸館件数は764件で、俳句、茶道、着付けなど各文化団体の活動のほか、民間企業の会議等にも利用いただいた。

**問** 施設利用者の利便性向上のため、前面の広場に利用者専用駐車スペースを確保すべきと思うが、市の考えを伺う。

**答** 前面の広場は、「等躬の庭」として整備していることから常時駐車スペースを確保する考えはないが、今後必要に応じて検討していく。

その他の質問事項

- ① 太陽光発電パネル設置の規制について



石堂 正章



中心市街地活性化について

**問** 中心市街地における課題への取組を問う。

**答** tette 来館者をまちなかに誘導するため、飲食店やパン屋、菓子店を紹介する『まちなかグルメマップ』を手に取りやすいサイズで作成し、tette で配布している。

空き物件の確保として、面積が大きい物件の間仕切り工事を補助する「シェア店舗整備事業」、店舗併用住宅の店舗と住宅を区分する改修を補助する「店舗併用住宅改修事業」、物件オーナーへ段階的の家賃の提案を行っている。公共空間を活用した地域活性化として、まちなか来訪者の増加を目的としたイベントを支援する「イベント等消費喚起応援事業」に、学生が主体的

に行うイベントを支援する「学生イベント事業」を新設して、にぎわい創出に取り組んでいる。

市長施政方針「自治会活動の推進」について

**問** 自治会運営に関する本年度の支援の状況と今後の取組を問う。

**答** 自治会運営の相談に対応するとともに、役員負担軽減を目的として、SNS活用事例をまとめた「須賀川市自治会DX事例集」を配布、デジタル技術を活用した先進自治会への視察研修費用の助成を行った。

自治会未加入者に対して、自治会の紹介冊子を作成し、DX推進による利便性や自治会の必要性などを実感していたら、取組を推進し、加入者の増加と、持続的な自治会運営に向け支援していく。

その他の質問事項

- ① 市長施政方針「豊かな心と体の育成について」
- ② 防災への取組について
- ③ 流域治水について



松川 勇治



長沼・岩瀬地域の持続的発展について

**問** 過疎地域持続的発展計画では、長沼小中一貫校整備を進めるとのことであるが、地域住民や対象となる保護者への説明は、どのような内容でされたのか伺う。

**答** 長沼地域への説明会は5回、PTA役員や長沼地区小中学校合同評議員会に対して実施した。内容は、過疎地域持続的発展計画に基づき長沼地域の小学校と児童クラブを長沼中学校敷地内に集約し、計画期間内に整備、開校を予定している旨を説明した。

**問** 敷地を整備する上で、まずは集約化に伴う学校形態について協議する必要があると考えるが、\*1小中一貫校となるのか、\*2義務教育学校になるのか伺う。

**答** 本市の小中一貫モデル事業を踏まえ、先行事例なども参考にしながら長沼地域の児童生徒にとってより良い公教育が実施できるよう教育委員会において協議しているところである。

今後、学校形態なども含めた更に詳しい説明会があるのか伺う。

**答** 整備の方向性が固まり次第、長沼地域の保護者を中心に説明会を開催したいと考えている。

**問** 閉校後の長沼小学校と長沼東小学校の校舎等の利活用について伺う。

**答** 校舎等の利活用につきましても、地元のご意見も伺いながら検討していく考えである。

\*1 小中一貫校

小学校と中学校それぞれに校長や教職員組織がある

\*2 義務教育学校

一人の校長と一つの教職員組織からなる



深谷 政憲



藤沼ダム管理の現状と課題について

**問** 令和3年4月に福島県から須賀川市に管理が移管され、まもなく4年経過するが、これまでの管理状況、特に安全管理の具体的な内容を伺う。

**答** 堤体内などに埋設されている土圧計、浸透水量計、表面変位計などの機器による観測を行い、月1回の市職員による浸透水量観測のほか、専門業者による各種観測データ整理、総合解析、江花川沿岸土地改良区による取水設備の保守点検を行っている。また、各種観測機器から得られたデータ等を基に総合解析を行い、ダムの安全性を確認している。

**問** 近年の材料費、労務費等の高騰による管理費用や委託業務費への影響及び観測機器・通信機器更新への考え方を伺う。

**答** 労務費の上昇や、観測機器部品などの高騰により、業務委託料は令和3年度に比べ令和5年度は約3割増加している。また、観測機器の設置から間もなく10年を迎えるため、システムの更新や見直しが必要。

**問** 県は、藤沼ダム管理を市に引継ぐにあたり、管理費用に對し上限500万円の財政支援及び技術的支援を5年間行うことを決定した。令和7年度は5年目となり、令和8年度以降についても支援を求めるべきと思うが、当局の考えを伺う。

**答** 毎年、県との意見交換会において支援の必要性を訴えており、今後も安全なダム管理に必要な財政的・技術的支援の継続を強く求めていく。

その他の質問事項

- ① 市長施政方針「令和7年度当初予算について」
- ② 須賀川市地域づくり出前講座の取組について

# 「中学生による模擬議会」が 開催されました!!



1月30日に開催され、市内の各中学校及び義務教育学校の代表者が議員となって質問しました。

今回の模擬議会を通じて、議会や政治の仕組みを身近に感じ、関心を持っていただきたいです。

## 参加・傍聴した皆さんへインタビュー!!

### 参加した中学生の声

- 演壇の前に立つと、緊張して手の震えが止まらなかった。
- 1つ1つの質問に丁寧に答えてもらえて、理解することができた。
- 緊張したが、堂々とできた。
- 地域に寄り添う大切さを理解した。
- 今後の学校生活や、将来に活かしていきたい。



### 傍聴した保護者の声

- 緊張していたようだが、立派だった。
- 子ども達への答弁は、市の歴史を考えるよい機会になったと思う。
- いつもは議会に関心を持つこともなかったのですが、傍聴できてよかった。
- 親もドキドキしたが、皆さんしっかり質問していて立派。お疲れ様でした。



# 政務活動費の活用状況をお知らせします

議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派所属議員に1人当たり月額3万円を会派に対して交付しています。(年度末までに残額がある場合は、市に返還。)

市議会ホームページでは収支報告書、領収書なども積極的に公開しています。

## 令和6年度 政務活動費決算一覧表

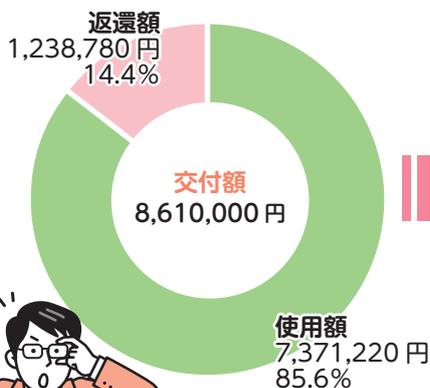
単位：円

会派名	会派構成	会派への 交付額 (A)	会派での 支出額 (B)	内 訳				収支差引 (A - B) 市への返還額
				調査研究費	資料作成購入費	広報費	事務費	
志政会	五十嵐 伸 佐藤 瞭二 大柿 貞夫 小野 裕史 熊谷 勝幸 古川 達也 関根 篤志 松川 勇治 深谷 勝仁 ※1	3,330,000	2,770,614	2,130,876	14,256	575,135	50,347	559,386
新政会	市村 喜雄 鈴木 正勝 石堂 正章 鈴木 洋二 柏村 修吾	1,800,000	1,641,281	1,317,980	25,256	298,045	0	158,719
須賀川 未来会議	大河内和彦 溝井 光夫 深谷 政憲	1,080,000	1,079,246	434,691	14,256	619,140	11,159	754
政悠会	本田 勝善 浜尾 一美 斎藤 秀幸	1,080,000	1,073,629	794,262	14,256	265,111	0	6,371
日本共産党 須賀川市議団	横田 洋子 堂脇 明奈	720,000	720,000	64,740	81,505	573,755	0	0
ニュー令和	大内 康司	360,000	41,300	41,300	0	0	0	318,700
耶麻文快	安藤 正博 ※2	240,000	45,150	41,300	3,850	0	0	194,850
合 計	7会派 24人	8,610,000	7,371,220	4,825,149	153,379	2,331,186	61,506	1,238,780
構成比		100.0%	85.6%	—	—	—	—	14.4%
支出額の 構成比			100.0%	65.5%	2.1%	31.6%	0.8%	

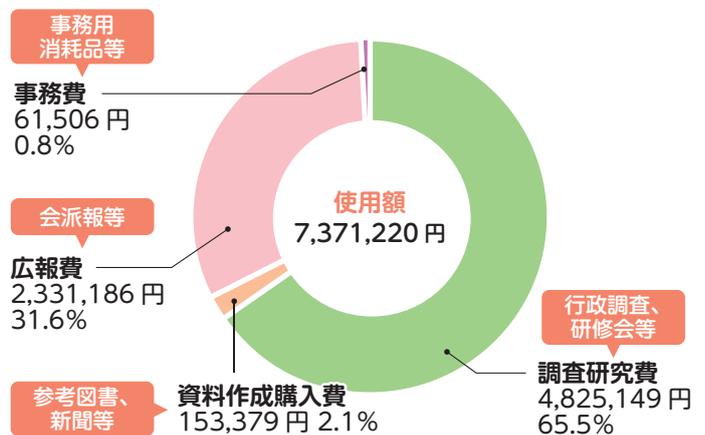
※1…大寺正晃議員 R6.6議員辞職により3か月分交付 ※2…R6.8.1会派結成により8か月分交付

政務活動費 8,610,000円 23人×30,000円×12か月=8,280,000円 1人×30,000円×3か月= 90,000円  
1人×30,000円×8か月= 240,000円

### 令和6年度政務活動費支出状況



### 令和6年度政務活動費使途割合





6月

# 定例会の会期予定

2025/6/5  
6/26

22  
日間

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
				招集日 【本会議】 (議案一括上程・ 提案理由説明)	議員議案調査	休会
8	9	10	11	12	13	14
休会	議会運営委員会 議員議案調査	議員議案調査	議員議案調査	総括質疑等 【本会議】 (総括質疑、議案等の委員会付託 議員議案調査)	常任委員会議案調査	休会
15	16	17	18	19	20	21
休会	常任委員会議案調査(予備日)	一般質問 【本会議】	一般質問 【本会議】	一般質問 【本会議】	【委員会】 総務常任委員会 経済建設常任委員会	休会
22	23	24	25	26	27	28
休会	【委員会】 文教福祉常任委員会	【委員会】 予算常任委員会	事務整理	最終日 【本会議】 (委員長報告、議案等 の質疑・討論・採決)		

## 議会広報 常任委員会

### 委員長

横田 洋子

### 副委員長

鈴木 洋二

### 委員

深谷 勝仁

松川 勇治

関根 篤志

柏村 修吾

斉藤 秀幸

深谷 政憲

## 会期中の活動内容

招集日【本会議】6月5日

- 定例会の会期を決定します。

総括質疑等【本会議】6月12日

- 議案に対する議員の総括質疑を行います。
- 議案等の詳細な審査を行うため、付託する委員会を決定します。

常任委員会【議案調査】6月13日

- 各常任委員会に付託された議案等について、委員会を開催し、議案等調査を行い、今後の審査に備えます。

一般質問【本会議】6月17日～19日

- 市政全般の事務等について質問を行い、市政の執行状況や今後の方針等を確認し、議員としての意見等を述べます。

常任委員会【議案審査】6月20日～24日

- 各常任委員会に付託された議案や請願について、質疑を行いながら細かく審査します。

最終日【本会議】6月26日

- 各常任委員会に付託された議案等について、委員長から審査の経過と結果を報告し、質疑、討論、採決を行います。



市議会HP



市議会だより

## 議会を傍聴しませんか？

本会議や委員会は、住所・氏名を記入するだけでどなたでも傍聴ができます。サークルやクラブ等、団体での傍聴も可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。また、本会議の様様をインターネットで配信しています。

ネット配信はこちら！



ライブ中継



録画配信



3台停められます



防音室でお子様連れの方でも安心です



委員会の傍聴席は8席です

次回の発行予定  
8月15日(金)